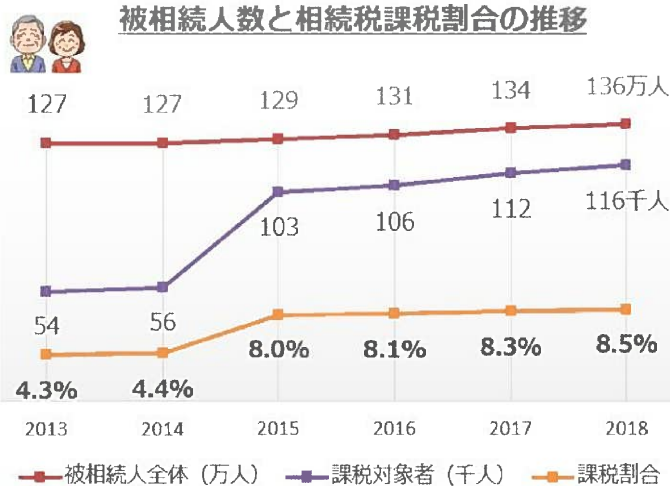


2018年の相続税申告書の提出状況が発表に！

●年々増加する相続税申告書の提出件数

2018年中に亡くなった方は前年より2万人強増の136万人、うち相続税の課税対象となったのは1万6,000人で、こちらも4,000人強増えました。

2015年の相続税改正で基礎控除が減額されたため、相続税の課税対象者数は倍増し、その後も高齢化進行でさらに増加傾向にあります。



●課税割合も年々上昇



◆100人中8.5人が相続税の対象！

課税割合は、亡くなった方のうち相続税が課税された割合。2018年の全国平均は8.5%、一昨年が8.1%、昨年は8.3%と徐々に上昇しています。

◆住んでいる場所で課税割合に差が…

相続税申告結果は、国税庁と全国12の国税局が発表します。今回都道府県別の発表がなかった関東信越局管内を除く41都道府県(下記)をまとめました。

◆東京都は全国平均の2倍以上

課税割合が最も高いのは東京都で16.7%。全国平均の2倍水準で、5人に1人が相続税の課税対象となる計算です。地価の高い中央区、港区などでみれば課税割合はさらに高くなるでしょう。2位は神奈川県13.3%、これに愛知県14.3%、静岡県10%と続きます。未発表ながら、埼玉県も高いと予想されます。



相続税申告は珍しいことではなくなりました。ご自身(または親御さん)が課税対象になるかどうか、一度はチェックしておきたいものです！

都道府県別 相続税の課税割合の推移

局	都道府県	2018年	2017年	2016年	局	都道府県	2018年	2017年	2016年
札幌	北海道	4.3%	4.2%	3.9%	大阪	滋賀県	7.7%	7.3%	7.1%
	青森県	2.7%	2.9%	2.7%		京都府	9.8%	9.8%	9.1%
仙台	岩手県	4.2%	3.8%	3.9%		大阪府	8.7%	8.7%	8.3%
	宮城県	5.6%	5.4%	5.4%		兵庫県	9.2%	8.7%	8.9%
	秋田県	2.6%	2.4%	2.4%		奈良県	9.6%	9.6%	9.3%
	山形県	4.1%	3.9%	3.7%		和歌山県	7.0%	6.8%	6.3%
	福島県	5.0%	5.0%	4.6%		広島	鳥取県	4.4%	4.6%
関東信越	新潟県	7.8% ※	5.8%	5.6%	島根県		4.3%	4.3%	4.1%
	長野県		6.9%	6.8%	岡山県		7.3%	7.3%	6.9%
	茨城県		5.7%	6.0%	広島県		8.3%	8.3%	8.3%
	栃木県		7.2%	6.3%	山口県		5.8%	6.1%	5.8%
	群馬県		7.5%	7.5%	高松	徳島県	6.8%	7.0%	6.3%
	埼玉県		10.2%	9.8%		香川県	8.2%	8.4%	7.6%
東京	千葉県	8.9%	8.7%	8.2%		愛媛県	6.4%	6.0%	6.4%
	東京都	16.7%	16.2%	15.8%	高知県	5.2%	4.6%	4.8%	
	神奈川県	13.3%	13.0%	12.6%	福岡	福岡県	5.9%	5.7%	5.3%
	山梨県	6.9%	6.3%	6.8%		佐賀県	4.1%	4.2%	3.9%
金沢	富山県	7.0%	6.9%	6.6%		長崎県	3.2%	3.4%	3.3%
	石川県	7.3%	7.2%	6.9%	熊本	熊本県	4.4%	4.0%	4.0%
	福井県	8.1%	7.4%	7.2%		大分県	4.3%	4.2%	4.2%
名古屋	岐阜県	8.4%	7.9%	8.4%		宮崎県	3.7%	3.4%	3.3%
	静岡県	10.0%	9.9%	9.6%		鹿児島県	3.3%	3.3%	2.9%
	愛知県	14.3%	13.9%	14.0%	沖縄	沖縄県	6.3%	5.7%	5.8%
	三重県	7.2%	7.0%	6.8%		全 国	8.5%	8.3%	8.1%

※関東信越局は県別データ発表がありませんでした。

は課税割合10%以上の地区